

平成22年3月31日
水産部水産振興課
(担当:久保)

安全・安心養殖魚づくり推進事業にかかる「水産用医薬品等
適正使用確認調査」の結果について

本県では、「安全・安心養殖魚づくり推進事業」の一環として県内養殖魚の安全・安心を広くアピールし、本県養殖業の健全な発展と消費者の健全な食生活の維持を図るため、今年度も「水産用医薬品等適正使用確認調査」を実施しております。

今回、平成22年1月15日から2月25日に調査した養殖魚の検査が終了したので、その結果を下記のとおりお知らせします。

なお、今後の調査結果についても、検査が終了次第、随時公表します。

記

対象業者数： 48業者(延べ数)

検査検体： ブリ15件、マダイ7件、トラフグ12件、
マハタ3件、マグロ11件 (1尾を1検体とした)

検体採取日： 平成22年1月15日～2月25日

分析項目：	ブリ	エリスロマイシン(EM)
	マダイ・トラフグ	オキシテトラサイクリン(OTC)
	マハタ	フロルフェニコール
	マグロ	プラジクアンテル

分析機関：(社)長崎県食品衛生協会 食品環境検査センター

分析方法： 液体クロマトグラフ・質量分析法

残留基準： エリスロマイシン : 0.06ppm(すずき目魚類:ブリ)
オキシテトラサイクリン : 0.2ppm
(すずき目魚類:マダイ、その他の魚類:トラフグ)
フロルフェニコール : 0.03ppm(すずき目魚類:マハタ)
プラジクアンテル : 0.02ppm(すずき目魚類:マグロ)

分析結果： 全て「検出しない」